

5

五鹿山(ごかざん)公園 キャンプ場



五鹿山(ごかざん)公園内にあるキャンプ場で、ログキャビン18棟、オートキャンプサイト17区画、フリーテントサイト18床を整備しており、緑豊かな林間環境の中で自然観察やバードウォッチングを楽しめます。道の駅かみゆうべつ温泉チューリップの湯から車で5分の距離にあるので、温泉へ入ってからテント泊することも可能です。

6

サンゴ草群生地 (鶴沼原生花園)



駐車場から小さな吊り橋を渡るとそこが鶴沼。毎年9月中旬にはサンゴ草（正式にはアッケシソウ）で真っ赤に染まります。サンゴ草の季節でなくても、青い吊り橋が映えスポットです。サンゴ草は昭和32年に北海道指定天然記念物に指定されています。

7

Family 遊園地 愛 Land YOU



国道238号線沿いのサロマ湖を望む小高い丘にある遊園地。日本最北の観覧車や大人も満足できるほど距離が長いゴーカートなど、ファミリーで楽しめるアトラクションが揃っています。また、道の駅 愛ランド湧別が隣接しており、1階には湧別町の特産品が並ぶ物産店、2階には湧別で獲れたホタテ料理を味わえるレストランがあります。

8

計呂地交通公園



国道238号線沿いにある旧湧網線の旧計呂地駅をそのまま保存した公園で、SL〈C58〉を展示しています。





永野 誠二さん・和子さん

何度も足を運び、移住を決意

2023年7月、大阪府から移住。ご夫婦ともに教員として勤めあげセカンドライフに湧別町での暮らしを選択。湧別町を知るために移住体験住宅を複数回利用し、真剣に考えて決断した。

移住しようと思ったきっかけを教えてください。

誠二さん：北海道で働いていた息子が湧別町で新規就農をすることになり、私たちも自分らの老後考えたときに息子たちの近くにいたほうがいいのではと思ったのがきっかけです。息子夫婦たちに相談したところ快く受け入れてくれました。

旦那様から移住のお話を聞いたときはどう思いましたか？

和子さん：娘は大阪にいますので、半々の気持ちでした。娘の近くにいる方がいいんじゃないかとも思っていたので。行ってみないと分からないと思って、移住体験住宅に申し込みました。

準備はどのように進めましたか？

和子さん：まず、本当に住んでいけるのか確かめました。主人は北海道での生活を経験したことがありましたが私は初めて。移住体験住宅を複数回申し込み、2週間の滞在でしたが各シーズンを経験しました。1回目は観光メインで2回目以降は実際に生活することをイメージしながらという感じでしたね。どの町でも行っていることかもしれませんが、湧別町のように移住体験住宅があったり、役場の人が親身になって対応してくれることはとても有り難く、安心しました。移住できると思ってからは、今の家を手放す準備と湧別での住まい探しを始めました。私たちは息子たちが就農する場所に別の住宅を建てて暮らすことができたので、非常にラッキーでした。

移住にあたり一番不安だったことはなんですか？

誠二さん：“大阪にある持ち家をどうするか”が一番の懸念点でした。家を残しておいて2拠点生活にするといっても、維持費もかかるのでできれば売却したいと思っていました。幸い早く売却できたので、移住するタイミングも早期に決めることができました。

和子さん：町に馴染めるかが一番不安でした。移住体験住宅を利用する中で、スーパーや日中孫と遊べる場所などを見つけたり、町の様子が分かるようになって生活のイメージが湧きました。



たくさん悩んだうえで 湧別町への移住を決めたご夫妻にお話を伺いました。

↑ 移住者のはなし

湧別町の気に入っているところを教えてください。

誠二さん：ん〜…特に困るところがないところかな。当たり前だけど、北海道ならではの広大で自然豊かな大地もいいよね。

和子さん：図書館が充実していてゆっくり過ごせます。また、お隣さんが離れているから、匂いや煙を気にせずにBBQができるのも大阪ではできなかったことです。

実際に来てみて、驚いたこと・発見はありましたか？

和子さん：朝散歩していて、頭の上で鳴き声がするので見てみたら、鶴が飛んでいました。大阪では見られない光景で驚きましたね。あとは虫が多いこと。冬なのに家の中にハエがいてびっくりしました。家の中にハエがいるのはとても嫌なので、絶対に虫が入らないお家や窓、カーテンが商品化されないかな〜絶対売れると思います(笑)

(※湧別町では時期や場所によって、ハエ・ワラジムシ・テントウムシ・カメムシ・ゲジゲジが出ます。ただし、ゴキブリはいません。)



もう少しこうなったらいいのと思う点がありますか？

誠二さん：今のままでもいいと思いますね。私は住む人の幸福度が重要だと思うので、新しいものをポンポン建てるのもちょっと違う気がします。

和子さん：観光面で正直なところ、チューリップ公園や道の駅に加えて、港町にある湧鮮館の周囲にも子ども連れが遊べたり買い物できる施設があればもっと活気づくんじゃないかなと思います。

移住を検討している読者の方へメッセージをお願いします。

誠二さん：移住は3つの縁が必要だと思います。「人の縁」「土地の縁」「お金の縁」この3つの縁が揃ってはじめてできることだと思っています。出会った人との関係や、その地に合うかどうかの肌感覚の部分、そして働く世代であれば移住先で仕事があるかも大事になる。私たちはこの3つが揃って湧別町への移住を決めることができました。実際に生活することを想定するために一度足を運んでみるといいと思います。



※2023年5月時点でのインタビューです。



田淵 徹平

ジビエ事業を継いで定住

大阪府出身。地域おこし協力隊として役場水産林務課にて林業や鳥獣関連のミッションに従事していたところ、町内でジビエ（シカ肉）販売事業をされている方と出会い2023年5月に事業継承した。翌年3月に協力隊を卒業。



竹内 咲樹

チューリップに惹かれて移住

福岡県出身。地域おこし協力隊として移住し、町やふるさと納税、かみゆべつチューリップ公園のPR業務を行っている。湧別に来て出会った酪農家と結婚し翌年第一子を出産。育児休暇取得後復職し育児と仕事に日々奮闘中。

移住してきたタイミングは同じ(2020.10～)。それ以外は全く異なる生活を始めた地域おこし協力隊2人に湧別町のあれこれ聞いてみました。

※2023年2月時点でのインタビューです。

湧別町に来た時の印象は？

田淵：びっくりしたことだらけでした。まだ9月なのにえらく寒い（たまたま冷え込んだ日だった）し、道はあまりにも直線。空港からは役場の方に送迎していただいたのですが、町内に入るとすれ違うクルマに始終「〇〇さんだな」「あー□□さん、久しぶりに見た」とか知ってる人だらけ（笑）また、普通に買った食べ物と水道水がおいしくて感動しました。

竹内：畑が多い。道が広い。まっすぐ。空が広くて近く感じる。これが北海道湧別町か～！（笑）来た時期が9月末で畑も終わりかけでほぼ茶色でしたが、ビルやマンションなど無機質に見えるものが一切なくて自然に任せている風景が気に入りました。

定住の決め手は？

田淵：やっぱり美しい自然。海、山、川、湖、丘、森、平野と全部そろっていてそれぞれに魅力がある。冬の厳しさなど生活していく上での不便な点も、2年住んでおそらく将来も十分やっていけると確信を得たので定住を決めました。

竹内：時間の流れ方と自然環境、人の優しさ・距離感。すべて居心地が良くて、自分に合っていると思ったからです。酪農に興味があっても手伝いをさせてもらっていた時にも、都会で満員電車で揺られて会社に行き一日中PCに向かって仕事をするよりも自分らしく働けている気がしていました。そのお手伝い先の人が今の夫です。

移住前後でイメージの違いはありましたか？

田淵：事前に地図で生活圏をじっくり見ていましたが、それでもイメージよりずっと距離の感覚が遠かったです。一軒隣の感覚が本州とかなり違いますね。勝手に、もっと荒涼としていて冬はずっと雪が吹き荒れている地の果てのようなところだと想像していましたがそこまでではなく、むしろ冬は晴れてる日が多いです。雪は積もって気温も低いけど、ぱっちり快晴という天気は日本の中でもなかなか無い気候なのではないでしょうか？冬が長いので、住んでいる人もどんよりしているかと思っていましたが、意外にみんな明るくてお年寄りも元気な人が多く、都会の年配者より明らかに若く見えます。

竹内：建物の間隔がもっと広いと思っていたので、想定よりコンパクトでした。頑張れば歩けるじゃん！と。でも実際に歩いてみると意外と遠かったり…。また、もっと何もないところだと思っていたのですが、意外とありました。コンビニもスーパーもドラッグストアもあることを知って、生きていける！と安心したのが懐かしいです。あとは人との距離感ですね。偏見かもしれませんが田舎はご近所付き合いが大変だと思っていたのですが、近すぎず遠すぎずの距離感で、関東でマンションに住んでいた時のほうが気を遣っていたと思います。

住み心地はどうですか？

田淵：人口密度が低く、季節ごとのおいしいものを食べて、時折自然の美しい瞬間に出会う。人間本来のあり方だなあといつも穏やかな気持ちで生活しています。

竹内：いいです。札幌までは車でも電車でも4時間ほどかかるので、頻繁に都会に行きたい方は向いてないかもしれません。別に都会が近くなくてもいいかな～という方なら住めると思います。

語りだすと止まらない...！住みやすいと感じるお2人から出たお話しです。参考までに

○夏は本州と比べると湿度が低くカラッとしていて過ごしやすい。

○冬の雪もさらさらしているので除雪が大変という印象もなく、運動不足解消にちょうどいい感じ。

○農地の近くに住むと春先や秋口は砂ぼこりや堆肥のにおいが気になる人もいますが、都会の排気ガスやどぶ川のおいよりよほどマシだと思う。

○普段の生活に必要なものや一般的な食品は近隣のスーパー等で充分揃う。むしろ旬の新鮮な食材が簡単に手に入る。そのほかはネットショッピングを利用。

○光回線が町全域に開通しているのでインターネット環境も充実。

○エンタメ的な不満も特になく、地元の吹奏楽のレベルが高いのでたまに開催されるコンサートでも十分楽しめる。

○空港は車で40分！なにかあれば東京までひとっ飛びできるので心にゆとりが持てる。

○北海道の家の断熱はすごい。部屋がすぐに温まる。

○北海道ならではの野生動物が身近にいることや、広々とした畑を眺めるだけでホッとする。

「移住してから夏にクルマのクーラーをつけたことがない」と言うと凍別の人に驚かれます。
(田淵)

都会にいたときは自然を求めて数時間お散歩していました。今はその必要もなくノストレス。
(竹内)

車は必須？

田淵：自転車が好きなので10km圏内は自転車があれば生活できる！と意気込んで移住してきたのですが、雪の気配がする頃には断念してあっさり車を購入しました。やはり天候が悪化したときや緊急事態を想定すると車はあった方がいいですね。ただし絶対に無理とは思いませんのでチャレンジしてみたい人はどうぞ！

竹内：移住前に地図をみて家と職場やコンビニの距離感をイメージして、車が必須と思ったので、引っ越し前から上司に相談して当月中湧別にあった販売店で、引っ越してきたその日に契約しました。購入時の条件は4WDのコンパクトカー。移住前は電車通勤で、免許取得から2年以上運転していないペーパードライバーだったので、毎日かなり緊張しながら運転していました。出勤初日には駐車ができなくて、アタフタしているところを上司に見られて助けてもらったのが今となってはいい思い出です（笑）

休みの日はなにをしていますか？

田淵：趣味のバードウォッチング。本州ではなかなか見られない野鳥もいるので楽しいです。5～10月くらいまでは自転車やゴルフをしています。町営ゴルフ場があるのが素晴らしい！移住してから始めたハンティング（狩猟）は半分仕事になりつつあります。自然の中で生命と対峙することは生きている実感をもった喜びでもあるし、同時に鳥獣被害対策として社会的意義のある活動でもあるなあと思っています。

竹内：天気良ければ出かけたくなるので、暖かい時期は景色がきれいなところを探しにドライブしたり、息子と自宅周辺をお散歩したりしています。冬は五鹿山スキー場でスキー＆そり！サクッと遊べるスキー場は我が家の定番です。また、遠軽町まで買い物に行ったり、必要があれば北見市まで出かけることもあります。

なんでも答えます

湧別、もっとこうなるといいのにと思う点がありますか？

田淵：都市部から来た人間にとっては面白スポットでも、地元の人にはそう映らないらしく全くアピールされていないのが惜しい。

例えば、愛ランドYOUには日本最北の観覧車があったり、雰囲気も昔懐かしの感じと変に混雑していないところがかえって良いと思っています。ふるさと館JRYも屯田兵村の資料や考古学的なものが充実していて、歴史好きには楽しめるスポットだと思う。当時の人の肖像画が残っていることも驚きました。

竹内：飲食店が少ないので気軽に外食できるお店がもっとあるといいなと思います。なにも作りたくない日もあるので（笑）あとは住めば分かるいいところなのに、数時間～数日過ごしただけでは町の良さが伝わりきらないところがあったいと思います。

町内イチオシスポットを教えてください！

芭露の御園山



頂上から芭露市街地とサロマ湖を一望できる。天気が良ければはるか彼方に知床連山も。（田淵）

川西の海岸



オホーツク海の波の音を聞きながらシブノツナイ遺跡など古代のロマンに思いをはせることができる。野鳥も多く、夏にはツメナガセキレイも渡ってくるスポット。（田淵）

計呂地交通公園



湧別町内の廃線跡は道路になっているところが多いので、車や自転車で巡ってみると当時の車窓をイメージすることができて面白い。（田淵）

月見が浜道路



湧別市街地から網走方面に向かって左側、愛ランドYOUの手前にあるサロマ湖が一望できる道路です。サロマ湖100kmウルトラマラソンのコースにもなっていて、42.195kmの記念碑もあります。サロマ湖のさざ波と木々の音が心地いい場所です。（竹内）

キューリップの湯



芯から温まり、肌もすべすべになるので、仕事終わりに行くことも。休憩スペースも広くて、子連れでもゆっくりできます。（竹内）

志撫子の桜が丘



東屋もあり、小休憩にぴったりの場所です。サロマ湖と円山を望むことができ、背中側には牧草地が広がり、北海道の広大な大地を感じることができます。（竹内）